

社内知財体制を整備し 様々な新素材を開発



三笠産業株式会社

所在地	山口県山口市
設立年	1949年
業種	製造業
従業員数	230人
資本金	9,196万円
ホームページ URL	http://www.mikasasangyou.co.jp



知財ポータル
窓口支援事例



製造業

中国

利用のきっかけ

★ 1986年から、粉体をミクロン単位まで細かくする微粉碎技術を応用したレーザープリンター用トナー、食品の微粉碎技術を使った「野菜ファインパウダー」等を製品化してきましたが、あらためて、社内の機密情報管理が必要になり、INPIT 知財総合支援窓口にご相談しました。

INPIT知財総合支援窓口での支援内容

支援内容

- ①経営層及び部門ごとに秘密情報管理勉強会を実施
- ②営業秘密管理規程の策定支援
- ③職務発明規程の策定支援
- ④蛍光トナーの知的財産権（実用新案、商標権）の取得

活用した専門家

INPIT知財戦略アドバイザー 弁護士

利用後の変化

創業以来、農業生産資材の販売など国内農業の支援を続けてきたこともあり、多くの特許、意匠、商標を権利化してきました。ただ、社内の機密情報管理については不十分だったこともあり、INPIT 知財総合支援窓口の支援を受け、営業秘密管理規程と職務発明規程の両方を揃えることで、社内の知財管理体制を整えました。

また、出雲工場においても、INPIT 知財総合支援窓口と連携して支援していただき、知財保護という点からは安心して製品開発・製造を進めることができています。開発中の新素材に関しても、特許出願について INPIT 知財総合支援窓口に支援していただいていますので、今後、開発型企业として社内の活性化を進めていきたいと考えています。

ご利用を検討される事業者さまへ

特許や意匠、商標などを権利化したとしても、それを活用して製品化するには、秘密管理は重要です。また、社員のモチベーションをアップさせるためにも職務発明規程も必要ですが、それらを自社に合わせて整備していくためには、知財に関する専門的な知識や経験が不可欠です。

そこで、INPIT 知財総合支援窓口を活用し、足りない部分を全面的にサポートして頂くことで、短期間でスムーズに社内の知的体制を構築できました。INPIT 知財総合支援窓口を自社の知財部のように考えてみたらいかがでしょうか。

三笠産業株式会社 取締役管理本部部長 大徳知道様